

生活単元学習研究部会研究報告

研究テーマ「各教科等を合わせた指導の特色を活かした、
生活単元学習の授業作り」

1 はじめに

埼玉県特別支援教育研究会 特別支援学校部会 生活単元学習研究部会は、平成3年に設立され30年間の活動を続けてきた。各教科等を合わせた指導である生活単元学習における単元については、通常教育における単元を踏まえた上で、知的障害を併せ有する児童生徒の学習をより効果的に発展してきた歴史的な経緯がある。

特別支援学校に通学する児童生徒は毎年、増加の一途をたどり、それに連動して若手教員をはじめとする教員も大きく増加しているが、各学校や総合教育センターでの研修に加えて、生活単元学習研究部会でも各学校の授業や教育課程を交流することによって、理解を広めることができている。また年次研修の会場校研修以外としては、他校の様子を知る貴重な機会にもなっている。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、部会は書面開催、研修会はオンライン開催となった。実践の共有については、発表を伴う情報交換の機会を持つことはできず、実践紹介・報告の配布のみにとどまった。

今年度の活動内容を、以下に報告する。

2 実践紹介

(1) 行田特別支援学校

「各教科等を合わせた指導の特色を活かした、生活単元学習の授業作り」

学校名	埼玉県立行田特別支援学校	氏名	福嶋 真斗
学部	小学部6学年（男子8名 女子1名）	授業場所	（小学部6年1、2組教室）

単元のテーマ	「じぶんのからだをしよう～たいせつなじぶんのからだ～」
1 ねらい (ねがい)	・身体には多くの部位や名前があることを知り、自分自身の身体に関心を持つ。 ・生物学上の男女の違いを知り、お互いを思いやる態度や心情を育てる。 ・身体を清潔に保つ事や身体についてのルールやマナーを知る。
2 単元計画	全8回計画 ①「からだのなまえをしよう」②「おとこのこ・おんなのこ」 ③「プライベートゾーン」④「パーソナルスペース」 ⑤「トイレのマークとマナー」⑥「お風呂のマナー・からだをきれいにしよう」 ⑦～⑧「思春期と第二次性徴」
3 内容 【概要】	この単元は、体の部位の名称や生物学上の性別など自分の身体の事や、清潔や健康の保持など生活習慣の基本、自分の身体を大切にすること、他人の身体も尊重することなどを幅広く学ぶ単元である。ふれあいの保障をしながら、ふれあいの同意を得ること、同意を求められたら許可や拒絶することも学び、

	<p>その上で社会的なルールやマナーとして大切なプライベートゾーンやパーソナルスペースなどを学ぶことで、生活にいかしていくことがねらいである。自分の身体の大切さはもちろんのこと、他人の身体の大切さやバウンダリーについても学んでいってほしいという願いもある。また来るべき第二次性徴に備えて、知識やマナーを養っていく。</p>
4 写真	 <p style="text-align: center;">からだのなまえ くいず! 「○○は、どこ？」</p> <p style="text-align: right;">もし、 さわられそうになったら・・・ やめて!! NO といおう!</p>
5 評価	<p>◎各教科等を合わせた指導の特色を活かしたところを記入</p> <p>生活科の基本的な生活習慣と体育の保健を合わせ、健康な生活に必要な清潔や身なり、身辺処理などを学び、日常生活で般化することができた。またプライベートゾーン・パーソナルスペースの話から道徳としての学びも行うことができ、最後は大切な自分の身体を自分で守り、お互いに尊重するという人との付き合いかたまで学習を展開するなど、多岐にわたる学びを実施することができた。</p> <p>○感染症予防として工夫したところがあれば記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気、消毒、ソーシャルディスタンスを徹底した。 ・体の洗い方は入浴せず、やり方を服の上から行った。 ・手洗いなど、感染症対策に必要なことは繰り返し指導した。 <p>○評価を行うにあたって工夫した点、または課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗いや顔洗い、身体洗いの手順を明確にし、評価をやすくした。また、プライベートゾーンの学習などはロールプレイを行い、「やめて」など断れるかなど判断基準を設けた。将来的には「なぜ大切にしなければならないのか」などの対話ができるとさらに良いだろう。

小学部(4年、5年、6年)一般学級

時刻	月	火	水	木	金
8:55	登校	登校	登校	登校	登校
9:00	1 日常生活の指導 <small>着替え、排せつ、歯のケア</small>	日常生活の指導 <small>着替え、排せつ、歯のケア</small>	日常生活の指導 <small>着替え、排せつ、歯のケア</small>	日常生活の指導 <small>着替え、排せつ、歯のケア</small>	日常生活の指導 <small>着替え、排せつ、歯のケア</small>
9:40					
9:50	2 体育	体育	体育	体育	体育
10:10					
10:20	3 自立活動	自立活動	生活単元学習	自立活動	図画工作
11:00					
11:10	4 音楽	体育	生活単元学習	体育	国語・算数
11:50					
12:00	5 日常生活の指導 (給食指導)	日常生活の指導 (給食指導)	日常生活の指導 (給食指導)	日常生活の指導 (給食指導)	日常生活の指導 (給食指導)
13:10					
13:20	6 生活単元学習	国語・算数	音楽	国語・算数	日常生活の指導
13:50					
13:55	7 日常生活の指導 <small>着替え、排せつ、歯のケア</small>	日常生活の指導 <small>着替え、排せつ、歯のケア</small>	日常生活の指導 <small>着替え、排せつ、歯のケア</small>	日常生活の指導 <small>着替え、排せつ、歯のケア</small>	日常生活の指導 <small>着替え、排せつ、歯のケア</small>
14:25					
14:30	下校	下校	下校	下校	下校

(2) 狭山特別支援学校

「各教科等を合わせた指導の特色を活かした、生活単元学習の授業作り」

学校名 狭山特別支援学校 氏名 松本 享洋 小学部6学年（男子13名 女子10名） 授業場所（調理室及び敷地内）

単元の テーマ	5月の花を見つけよう ～学校内の春をみつける活動～
1 ねらい (ねがい)	<ul style="list-style-type: none"> ・季節が移り変わることを知り、春の暖かさを体で感じることができる。 (知識・技能) ・友達と協力したり先生の助けを得たりしながら春をみつけることができる。(思考力・判断力・表現力) ・今回の活動を振り返り、生活の中で春を感じられるようになる。(学びに向かう力・人間性等)
2 単元計画	全2回計画 ① 5月の花を知ろう ② 5月の花を学校で探そう
3 内容 【概要】	この単元は、季節がだんだんと移り変わっていくことを知ることで、漠然と感じていた季節に意識を向けることを考えて実践した。また、iPadアプリ「ハナノナ」を使うことで、その場で花の名前を知ることができるので主体的に体験的な学習が行えた。見つける花もビンゴ形式で紙に貼っておくことで、ゲーム感覚で楽しみながら花をみつける活動に取り組むことができるようになっていた。最後に見つけた花を発表し合うことで学び合いや学習の振り返りになっていた。
4 写真	
5 評価	◎各教科等を合わせた指導の特色を活かしたところを記入 <ul style="list-style-type: none"> ・iPad アプリを効果的に使い、季節の花の名前や読み方を目の前の実物を見ながら学ぶことができた。また、花でビンゴゲームも同時にやっていたことで、その場にいる仲間と花の名前の教え合い（学び合い）も行えた。 ○感染症予防として工夫したところがあれば記入 <ul style="list-style-type: none"> ・教室内では、児童同士の間隔を取って着席している。 ・屋外での活動をメインにすることで、密になることを回避した。 ○評価を行うにあたって工夫した点、または課題 <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内を広く使ったことで、見つけた花を発表し合う時間が足りなくなってしまう。単元の時間数に余裕を持たせられるとよい。 ・iPad アプリを使うことや写真アプリを使用することで、目で見て理解できる工夫を行った。

日課表：小学部4・5・6年生 一般学級（1単位時間45分）

校時	時刻	月	火	水	木	金
1	9:10	登 校				
		日常生活の指導（着替え・トイレ）				
	9:30	自立活動				
	9:55	休憩・移動				
	10:00	日常生活の指導（朝の会）				
	10:15	休憩・移動				
2	10:20	図画工作	国語・算数	生活単元学習	生活単元学習	音楽
	11:05	休憩・移動				
3	11:20	自立活動	体育	生活単元学習	国語・算数	体育
	12:05	休憩・移動				
4	12:15	日常生活の指導（食事に関する指導・給食）				
	13:05	休憩・移動				
	13:10	日常生活の指導（片付け・トイレ・歯磨き・掃除）				
	13:20	休憩・移動				
5	13:25	音楽 （リズム）	遊びの指導 （元気タイム）	図画工作	自立活動	遊びの指導
	14:10	休憩・移動				
6	14:15	日常生活の指導（着替え・トイレ・帰りの会等）				
	14:50	下 校				

3 おわりに

令和3年度に続き、令和4年度も参集する機会を持つことが難しかった。書面開催や、オンライン開催の制約から、部会員が相互に実践紹介を行う機会を確保することができなかった。各教科等を合わせた指導である生活単元学習の実践力の向上は、多様な実態の児童生徒が学ぶ特別支援学校の学校教育において重要であると考えられる。感染症拡大防止や、働き方改革に配慮しながら、より効果的に、実践を共有し、実践力の向上を図るとともに、部会員相互の交流を深める活動の工夫が必要である。